

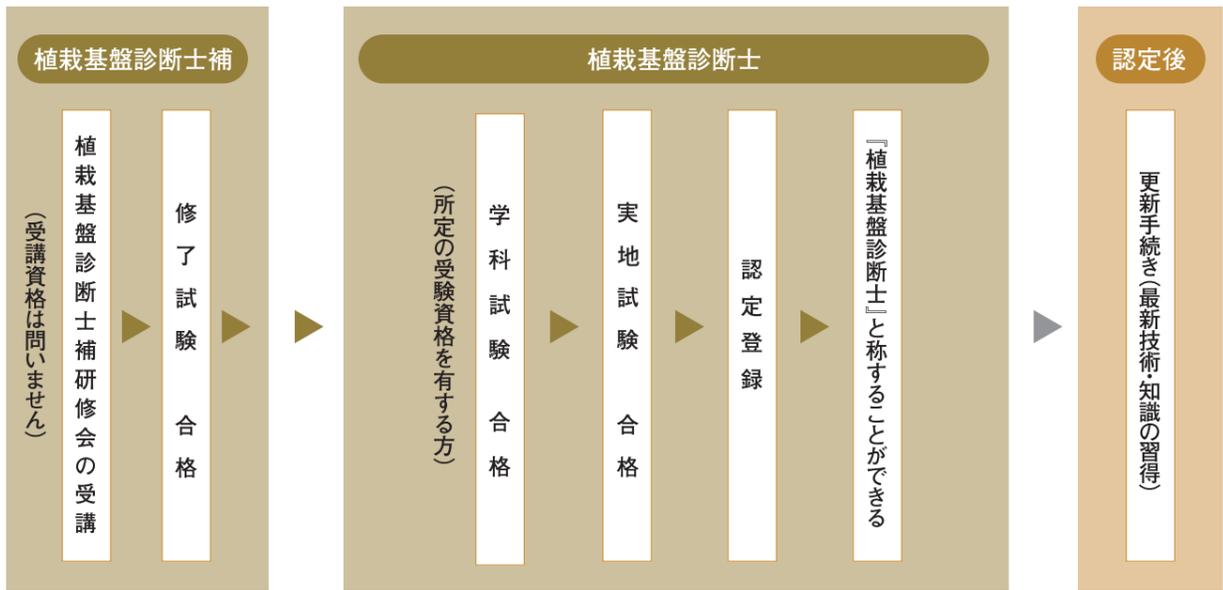
資格と役割

植栽基盤診断士は、植栽予定地の現況調査と診断、改良の立案、具体的な処方のための技術提案をすることが重要な役割です。

資格名称	役割
<p>植栽基盤診断士</p> 	<p>「植栽基盤診断士」は、植栽基盤、土壌、植物、植栽に関する知識と経験及び処方能力を総合的に兼ね備えた、植栽基盤整備に係わる卓越した技術力を有する者をいい、植栽工事にあたり、植栽対象地を調査、診断し、処方を立案する。</p> <p>※「植栽基盤診断士補」は植栽基盤診断士の指導の元に植栽対象地の調査、診断、処方の立案を補佐する。</p>

資格認定までの流れ

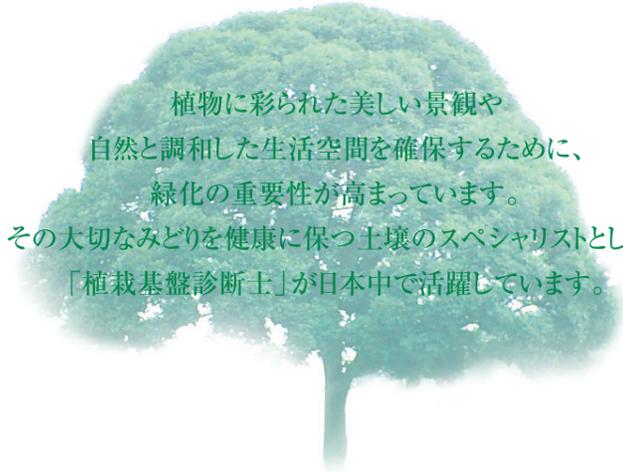
植栽基盤診断士となるためには、日造協が開催する研修会を受講し、試験に合格することで認定されます。



試験の詳細はホームページをご覧ください。

いきいきとしたみどりは、理想の土壌から

植栽基盤診断士®



植物に彩られた美しい景観や
自然と調和した生活空間を確保するために、
緑化の重要性が高まっています。
その大切なみどりを健康に保つ土壌のスペシャリストとして、
「植栽基盤診断士」が日本中で活躍しています。

植栽基盤診断士は、“植物が良好に育つ土壌環境”を整える専門家です。

土壌や植物など幅広い専門知識を駆使して、緑地空間の創出と保全に取り組んでいます。

Why?

なぜ必要なのか

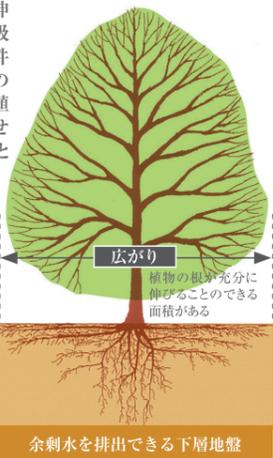
植物がこうならないために

都市における緑化がさまざまな場に展開されるようになり、植栽された植物の生育不良や枯死が問題になっています。植物という大切な生活資源を損ない、経済的にも損失となっている原因の多くは、土壌環境の不良によるものといわれています。



【植栽基盤とは】

植物の根が支障なく伸長して、水分や養分を吸収することができる条件を備え、ある程度以上の広がりがあり、植物を植栽するという目的に供せられる土層を植栽基盤と定義しています。



How

いきいきとしたみどりを保つために

植物が健康に育つ環境をつくるプロフェッショナル

現在、植栽基盤に求められているのは、植栽された植物が生育目標に向かって健やかに育ち続けていくために、植栽土壌の整備に関わる総合的な知識と卓越した技術力を持つスペシャリストの存在です。そうした人材育成のために、日造協が行っている「植栽基盤整備の研究」の集大成として、認定制度を創設しました。

土性判定



分析用の試料を採取し、土壌の土色や粒径などを調べ、土壌の性質を判断する。

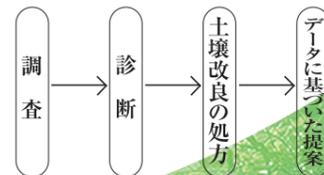
土壌断面の調査



土層の厚さ、土壌構造、土性、水分等、植栽地の土壌断面構成を確認する。

Ability

植栽基盤診断士の卓越した技術力



土壌硬度の判定



根の生育に適した土壌の硬さであるかを判断する。

透水性の判定



現場透水試験を行い、地盤の透水性を判断する。

化学性判定



酸度(pH)や電気伝導度(EC)などを測定し、酸度や生育に有害な物質の有無を判断する。

Answer

将来像

自然と調和した環境へ

健やかに育つみどりは、美しい景観のある生活空間により、人々の暮らしにうるおいをもたらしてくれます。さらに、都市部のヒートアイランド現象の緩和などの環境保全機能や、多様な生きものたちの生態系の保全にも役立ち、地球環境保護の重責を担っています。



「植栽基盤診断士」 資格制度について

建設省(現、国土交通省)との共同研究から、植栽基盤整備の十分な知識と技術力の向上のために発足した資格制度。学科・実技の研修、更新手続きを通じて、植栽基盤診断士の普及と資格のさらなる向上に努めています。

植栽基盤診断士に 求められる能力

- 植栽基盤、土壌に関する知識 —— 植栽予定地の現況調査・診断・植栽基盤整備に必要な土壌の物理性、化学性等の知識。
- 植物に関する知識 —— 植栽されるさまざまな植物の総合的な知識。
- 植栽に関する知識 —— 植栽や移植に関する多様な工法、経済性の知識と技術力。
- 植栽基盤整備のための調査・診断・処方能力 —— 植栽地盤の調査・診断技術と、植栽基盤整備の観点にたつて下す処方能力。
- 植栽基盤整備の提案力、説明力 —— 発注者などに対し、施工性、経済性を考慮して、明確なデータを示しながら行う技術提案力と説明力。